

2025年度 出力制御見通しについて

2025年 1月 23日

関西電力送配電株式会社

<シミュレーションの前提条件>

- 太陽光・風力の前日想定値・実績値は2023年度データを使用
- 需要は、至近の実績を踏まえ、2023年度需要から約0.5%程度の需要減を考慮
- 太陽光・風力の設備量は、2024年9月末設備量に至近の増加量を考慮
- 火力は、エリア需給運用において必要最小限を織り込む
- 供給力は、2025年度補修計画を織り込む
- 連系線活用量は、4連系線の運用容量合計の20%分受電として算定
(至近過去1年のうち、再エネ出力制御を実施していた時間帯の連系線実績平均)

〈2025年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2025年度 見込み	0.51% (0.31億kWh) 太陽光：1.34% 風力：0.48%	0.14% (0.01億kWh) 太陽光：0.15% 風力：0.12%	0.15% (0.03億kWh) 太陽光：0.15% 風力：0.12%	0.15% (0.00億kWh) 太陽光：0.15% 風力：0.00%	0.37% (0.36億kWh) 太陽光：0.37% 風力：0.32%	0.36% (0.36億kWh) 太陽光：0.36% 風力：0.32%
(参考) 2025年度 IPF全体オンライン化	0.13% (0.07億kWh) 太陽光：0.14% 風力：0.09%		0.13% (0.06億kWh) 太陽光：0.14% 風力：0.09%	0.14% (0.00億kWh) 太陽光：0.14% 風力：0.00%	0.13% (0.13億kWh) 太陽光：0.14% 風力：0.09%	0.13% (0.13億kWh) 太陽光：0.13% 風力：0.09%

(注) 四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある

※1 オンライン代理制御分（オフライン相当の8時間停止に換算した値）を含む

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合

〈2024年度出力制御見通し〉

	出力制御率 (制御電力量) [太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2024年度 見込み	2.44% (1.69億kWh) 太陽光：2.51% 風力：0.65%	1.17% (0.08億kWh) 太陽光：1.25% 風力：0.34%	0.73% (0.12億kWh) 太陽光：0.73% 風力：0.00%	1.78% (0.03億kWh) 太陽光：1.78% 風力：0.00%	2.03% (1.92億kWh) 太陽光：2.08% 風力：0.59%	1.68% (1.65億kWh) 太陽光：1.71% 風力：0.59%
(参考) 2024年度 ITIA全体オンライン化	0.90% (0.46億kWh) 太陽光：0.90% 風力：0.80%		0.90% (0.38億kWh) 太陽光：0.90% 風力：0.80%	0.90% (0.02億kWh) 太陽光：0.90% 風力：0.00%	0.90% (0.86億kWh) 太陽光：0.90% 風力：0.80%	0.87% (0.86億kWh) 太陽光：0.87% 風力：0.80%

(注) 四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある

※1 オンライン代理制御分(オフライン相当の8時間停止に換算した値)を含む

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合

	実績	見通し	
	4~7月	8~3月	年度合計
全設備	4.26% (1.62億kWh) 太陽光：4.33% 風力：1.72%	0.05% (0.03億kWh) 太陽光：0.05% 風力：0.09%	1.68% (1.65億kWh) 太陽光：1.71% 風力：0.59%

〈短期見通し算定における制御量最大時の需給バランス〉

【万kW】

			2025年4月20日 11時 (過去実績にもとづく算定値)
需要			1,266.2
供給力	火力	調整電源	183.3
		非調整電源	94.7
		計	278.1
	再エネ	太陽光	631.8
		風力	6.5
		一般水力	84.1
		地熱	0.0
		バイオマス	23.0
		計	745.4
	原子力		464.4
	揚水式水力		▲232.8
	連系線活用		206.2
	再エネ出力制御		▲195.1
	供給力計		1,266.2

(注) 四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある

- 現在のオンライン化状況は以下のとおり。今後も、旧ルールのおフライン事業者に対して、ダイレクトメールの送付等の機会を活用しオンライン化の推奨を継続して実施していく。

【関西エリアにおけるオンライン化の状況※】

項目		2024年9月末	(参考) 2024年3月末
太陽光	①オンライン化率 $((②+④)/(②+③+④))$	66.1%	59.5%
	②新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	157.7万kW	148.3万kW
	③旧ルール、オフライン事業者	107.6万kW	125.7万kW
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	52.6万kW	36.1万kW
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 $(④/(③+④))$	32.8%	22.3%
風力	⑥オンライン化率 $((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))$	58.4%	58.4%
	⑦新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	7.4万kW	7.4万kW
	⑧旧ルール、オフライン事業者	7.4万kW	7.4万kW
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	3.0万kW	3.0万kW
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 $(⑨/(⑧+⑨))$	28.8%	28.8%

※「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者。新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光10kW以上）」について算定。

- ◆ 関西エリアの太陽光・風力の導入状況は、以下の通り。
- ◆ 太陽光の導入は継続的に増加、2024年9月末時点で太陽光751万kW、風力17万kW。
- ◆ 年間約50万kWのペースで増加

[万kW]

